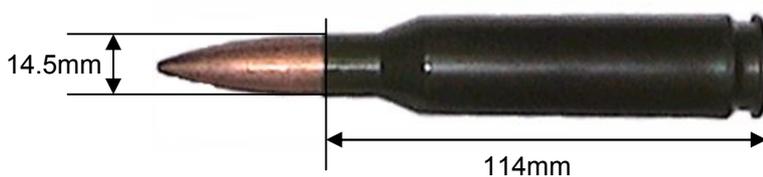


# 銃弾の表記について

## 1. 口径と薬莢の長さ

NATO結成以降、各国間の弾薬識別のためにスタンダード表示法として、「口径 x 薬莢の長さ」を採用するようになった。例えば、14.5mm x 114 は、弾丸の口径が14.5mmで、薬莢の長さが114mmを示す。

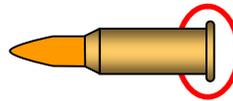


### 7.62mm NATO (.308NATO)

7,62mm NATOとは、NATO標準弾のことで、口径7.62mm x 51を意味しており .308はインチを表す。

### 7.62mm x 54R

表示の最後にRと記載されているのは、弾薬の後端が、薬莢後端直径より大きく突き出たリムになっていることを示す。



### 30-06 (7.62mm x 63)

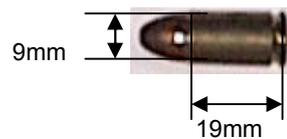
アメリカのM1、M2ライフル等に使用され、30は、30/100インチ口径を意味する。06は、1906年設定を意味する。

## 2. 弾丸の形状

弾丸の形状には、下記の代表的な種類がある

### RN(Round Nose)型

先端が丸く成形されており殺傷力大きい。9mm x 19



### S(Spear)型

流線型で先が尖った尖頭型。高速で風の影響が少なく、安定して精度が高く貫通力を重視した弾丸。



### FN(Flat Nose)型

先端を平らに成形した弾丸。弾丸の持つ破壊力を効果的に活かしている。



### 3. 弾丸の種類について

同一の銃を使用してもその弾丸の種類により破壊力が異なる。

#### FMJ(Full Metal Jacket)

銅をベースとした合金(ギルティング・メタル)で被われたブレット(弾頭・弾丸)を言う。

命中後にバラバラにならず、軍用弾はすべてこれに統一されている。

#### Ball (普通弾)

FMJの中で、一般に使用される弾薬。弾芯に金属メッキが施され、命中後も変形しにくい構造を持つ

#### MSC (Mild Steel Core)

FMJであり、中に軟鉄を使用している。

#### LCSJ (Lead Core Steel Jacket)

鉄製のジャケットの中に鉛を使用している。

#### SCSL (Steel Core Steel Jacket)

鉄製のジャケットの中に軟鉄を使用している。

#### Incendiary 焼夷弾

燃焼しやすいターゲットに対し使用するもの。弾頭内部に燐化合物を充填してある。

#### AP(Armour Piercing) 徹甲弾

対装甲車両用で使用され貫通力に優れる。弾芯前方に鉛とアンチモニーの合金を充填。

あるいは鉄鋼製、タングステン・カーバイト製の弾芯を持つ。

#### API (Armour Piercing Incendiary) 徹甲焼夷弾

徹甲弾と焼夷弾(弾頭内部に燐化合物を充填し燃焼させる)を組み合わせたもの。

#### JSP(Jacketed Soft Point)

弾丸の形状はS型RN型があるが、命中時に深い侵入力と先端部が潰れてきのこ状に膨張する。

通常口径の2倍の威力がある。

#### JHP(Jacketed Hollow Point)

弾丸先端を切り落としたような形状を持ち、命中時の深い侵入の際にきのこ状に膨張し、大きなダメージを与える。

